

簡単に実現する正確な溶接

自動溶接は生産性と安全性が高く、従業員には余裕が生まれます。少なくとも溶接セルTruArc Weld 1000ではそれが極めて簡単に実現します。その証拠に、運搬機器メーカーのSANOでは従業員にかかる負担が軽くなっており、管理職はそれに満足しています。



SANO Transportgeräte GmbH

www.sano.at

SANO Transportgeräte GmbHは、1989年にヨッフム・ピアマ氏が設立した企業です。同氏は、重量物と足が不自由な方のための移動型電動階段運搬車を開発しました。同氏のアイディアは特許取得済みです。販売子会社としてSANO Deutschland GmbHとSANO UK powered stairclimbers Ltd.の2社を有するSANOは、世界中の60か国で事業を展開し、成功を収めています。主にアルミニウム製の階段運搬車の単品部品は、サプライヤーネットワークによって製造され、リンツにある本社で開発、組み立てられています。そこでは、品質と安全性に焦点が当てられています。

業界	従業員数	事業拠点
荷物および人員 用運搬機器	55	リンツ (オーストリア)

TRUMPF製品

■ TruArc Weld 1000

アプリケーション

■ 自動アーク溶接

課題

オンライン販売が大流行する前から、スマートな運搬ソリューションを求める声がすでに上がっていました。重量物だけでなく、足が不自由な方を背中に負担をかけずに運搬するための機器は成長市場になっています。SANOの階段運搬車では、安全性が最優先事項になっています。そのためリンツ工場にて優秀な技師がサプライヤーから供給された部品を溶接しています。将来的に見て、安全関連の量産品の生産効率を高め、また自社の溶接技師にかかる負担を軽減するため、マティアス・ヴィンクラー取締役はオートメーションソリューションの導入を考えました。ただしそれは簡単であるべきで、かつプログラミングの知識が不要であることを前提条件としていました。



"溶接シームは完璧で、いつでも同品質で再現可能です。"

マティアス・ヴィンクラー

SANO TRANSPORTGERÄTE GMBH取締役



解決策

SANOの溶接技師、ダヴィッド・ファルクナー氏は2021年初頭にTRUMPFの自動溶接セルTruArc Weld 1000と出会って以来、それに感銘を受けています。「このシステムの操作はとても簡単で、複雑な部品を溶接する場合でもCNCの知識が要りません。バーチャルトレーニングをスマートフォンで受けた後、すぐに作業を開始することができました。」マティアス・ヴィンクラー取締役もこの溶接セルの実力に満足しています。「集塵システム、眩光防止カバー付きのハウジングとFronius製の高出力溶接電源から成るこのトータルシステムは、従業員が安心して作業できる最先端の作業場です」。SANOではTruArc Weld 1000を使用して、安全関連の量産品を溶接しています。このシステムは一度セットアップしてしまえば、トレーニングを受けていない作業員でも部品の追加供給を行うことができます。そのため溶接技師には余裕が生まれ、プロトタイプや少量生産品の製造に時間を割けるようになります。ヴィンクラー取締役は「当社は成長し続けます」と話したうえで、「TruArc Weldを活用して、今後は生産の品質だけでなく、スピードもこれまで以上に高めていきます」と述べています。

実行

SANOでは既にTruArc Weld 1000で車椅子を階段運搬車に固定するためのフッククランプなどの量産品を溶接しています。マシンに付いているQRコードからバーチャルトレーニングを呼び出して受講すれば、すぐにこの溶接セルを生産ラインに組み込めるようになります。SANOで取り扱っている部品の大多数は比較的小型であるため、同社では2ステーションモードも役立てています。作業エリアは拡張可能な仕切り壁で区切れるため、SANOでは主要工程と並行し複数部品の加工が可能となっています。



展望

SANOに勤務している4人の溶接技師全員がオペレーター用バーチャルトレーニングを修了したら、全員が共にTruArc Weldでの自動溶接用の量産品製造準備にどんどん取り掛かることができます。自動溶接できるコンポーネントの数が時間の経過と共に増えていけば、新製品や改良品の開発などの創作的な仕事に割ける時間も増えていくことになります。

